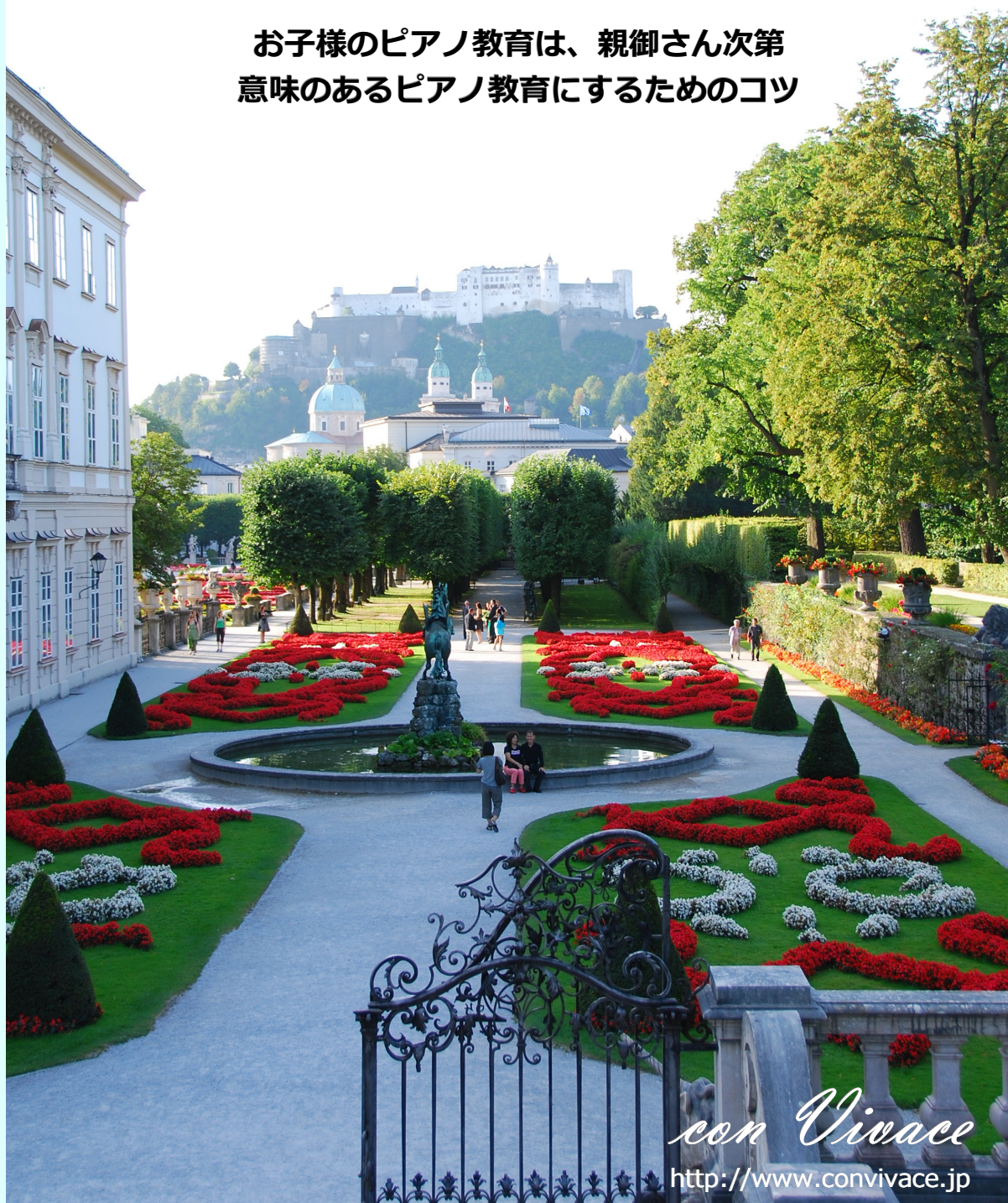


子供のためのピアノ教育

お子様のピアノ教育は、親御さん次第
意味のあるピアノ教育にするためのコツ



con Vivace
<http://www.convivace.jp>

子供のためのピアノ教育

お子様のピアノ教育は、親御さん次第
意味のあるピアノ教育にするためのコツ

con Vivace

ご注意

本書に記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書によって生じたいかなる損害についても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書の一部または全部を無断で複写・複製・転載することを禁止します。

目次

はじめに	4
第1章 目的：ピアノを習うことのメリット	8
1.1 頭がいい子とピアノの関係	8
1.2 人間になくってはならない音楽	10
1.3 音楽による情操教育って何？	11
1.4 お子様の人生にとって大切な事	12
人生に重要となる習慣	14
成功体験がもたらす効果	18
ピアノ教育が与える影響	20
1.5 大舞台を経験する	21
1.6 ピアノを習っている子に共通する特徴	23
1.7 大人になったときのメリット	25
第2章 目標：どのくらい弾けるようになるのか	28
2.1 ピアノは何才から始めるべきか	28
2.2 ピアノの演奏レベルについて	30
バイエル	31
ブルグミュラー25の練習曲	32
ソナチネアルバム	33
ソナタアルバム	33
2.3 どのくらいのレベルまで弾けるようになるものか（演奏例付）	34
幼稚園・保育園生	35
小学1年生	35
小学2年生	36
小学3年生	36
小学4年生	37
小学5年生	37
小学6年生	38
中学1年生	38
中学2年生	39
中学3年生	40
高校生	40
2.4 楽譜は読めるようになるのか	40
2.5 子供に絶対音感をつけさせる	42
絶対音感があることによるメリット	43
第3章 選択：音楽教室選びとピアノ講師	45

3.1 音楽教室の種類とカリキュラム	45
3.2 グループレッスンの特徴	47
3.3 個人レッスンの特徴.....	50
3.4 ピアノ講師を選ぶ際の注意点	53
3.5 音楽教室・ピアノ教室選びのまとめ	55
第4章 継続：意味のあるピアノ教育とするために.....	57
4.1 お子様のピアノの才能とは？	57
4.2 ご両親の支援とその注意点.....	62
子供のやる気を起こさせるには.....	63
お子様の家での練習	63
親御さんがお子様にピアノを教える場合の注意点	64
ご両親とピアノ講師との関係	65
練習をどこまで強制するべきか.....	66
受験と塾とピアノをどう考えるか.....	67
ピアノの進度だけでなく音楽が芸術であることを理解する	68
親御さんも音楽を好きになり音楽を楽しむ	69
4.3 どんなピアノで練習をするべきか.....	69
電子ピアノで出来ること出来ないこと（○×表）	71
4.4 どこまで続けさせたらよいのか	73
4.5 実例：お子様の進度と親御さんの決断	73
4.6 お子様の教育方法についてのヒント	80
4.7 ピアノが趣味となるまでに.....	86
第5章 音楽を職業とするには.....	88
5.1 音楽関連の仕事と超学歴社会のクラシック音楽界.....	88
ピアニスト	88
ピアノの先生・学校の音楽の先生.....	89
その他の音楽関連の仕事.....	91
5.2 音大を目指す場合（音大の入試と進め方）.....	93
5.3 音大生の就職先は？	95
あとがき	97
曲の再生方法について.....	100
コン・ヴィヴァーチェからのお知らせ	102

はじめに

少子化と言われて久しいですが、現在でも音楽教室のメインは「お子様」です。音楽教室の中でも、ピアノが一番多く教えられている楽器ではないでしょうか。大手の音楽教室では、5月から新学期が始まり、毎年多くのお子様ピアノを習うために入会されます。

私が子供の頃も、女の子の多くはピアノを習っていました。ピアノが弾けることは一種のステータスで、ピアノが弾ける女の子を持つことは、親の憧れでもあったのかもしれません。しかし、大人になってから小学生時代の友達に会ってみますと、今でもピアノを弾いている人は皆無に等しく、今でも楽譜を読んでピアノが弾けるという人もとても少ないのです。元々お子様をプロの音楽家にさせることを目指してピアノを習わせていた方はほんの一握りで、ほとんどの方は、お子様の教養のためにピアノを習わせていたのだと思います。しかし、**子供の頃ピアノを習っていた方の多くは、その時に学んだ知識や技術を忘れてしまい、大人になったときにはピアノを思うように弾くことができず、楽譜を読むこともできないのです。**

ピアノ講師の立場からすれば、一時的な教養であっても、毎月レッスンの月謝を払っていただけることは有難いことではあります。また、「とにかく、いろいろな習い事をやらせてみたい」「将来の選択肢を少しでも増やしてあげたい」という親御さんの気持ちもよくわかります。しかし、それと同時に、ピアノが子供の頃の一時的な教養で終わってしまい、その後の長い人生の中で音楽を演奏する楽しさや満足感、心の安らぎを多くの方が実感できていないことを、とても残念に感じています。そして、ピアノが子供の頃の一時的な教養で終わる原因は、お子様本人の意思を除けば、音楽教室やピアノ講師の努力不足と共に、**お子様のピアノ教育に対しての親御さんの理解不足や情報不足**にあると思えてならないのです。

これまでのピアノ講師の経験から感じられることは、**小さい頃からピアノを始めても、ある程度のレベルの曲が弾けるようになるまで続けないと、ピアノの演奏技術という点では、それまでの投資が限りなくゼロになってしまう**ということです。もちろん、個人差もありますが、例えば大人になって子育てが一段落した後、ピアノ教室に再度通い始める方のほとんどは、お子様の頃、この「ある程度のレベル」まで進まれている方ばかりなのです。ピアノを習うことで、演奏技術だけではなく、多くの知識や経験、そして芸術を理解する心や地道に努力する習慣などを身に付けることができますので、投資が全て無駄になることはないでしょう。しかし、音楽の演奏が趣味として定着するまでには、ある程度の期間の継続した努力が必要となるのです。

現在では、お子様がピアノ教室に通うことを辞める最大の理由は受験です。多くの方が、辞められる際に「受験のため、ピアノを習う時間がなくなるので…」と言われます。ただ、これについても、以前から不思議に感じておりました。なぜなら、**受験でもピアノを辞めない方の多くが、大変優秀な学校に進学されている**からです。毎年正月に、学問の神様として有名な「湯島天神」までお守りを頂きに行き、受験生に差し上げていますが、皆さんが、希望されていた学校に進



曲の再生方法について



本解説書では、文章を読むだけではなく、実際に曲を聴いて、どのような曲なのかご理解いただけるようになっています。曲の再生方法は、本書を製本サービスで購入された場合と、ダウンロード版で購入された場合で異なります。以下に、それぞれの再生方法をご説明いたします。

製本サービスで購入された場合

製本サービスで購入された場合、印刷された解説書と共に音楽 CD がキットの中に含まれます。本書で、曲をお聴き頂ける箇所には、以下のようなマークがあり、音符の記号の後に書かれている数字が、添付されている音楽CDの曲目の順番になります。

 1 ([WMA](#) [MP3](#))

例えば、上記のマークの場合、音符の記号の後に「1」と書かれていますので、音楽CDの1番目の曲をお聴きください。その次に書かれています [WMA](#) や [MP3](#) は、ダウンロード版で使用するものですので、無視してください。

ダウンロード版を購入された場合

ダウンロード版を購入された場合、本書を PC (パソコン) で開きます。本書で、曲をお聴き頂ける箇所には、以下のようなマークがあり、[WMA](#) か [MP3](#) の部分をクリック/タッチすることで、インターネット経由で、その曲がダウンロードされ再生されます。

 1 ([WMA](#) [MP3](#))

WMA は、Windows Media Audio の頭文字をとったものです。Windows(ウィンドウズ)の PC では、こちらをクリックすることで、曲を聴くことができます。

Apple(アップル)の Mac で本書を読まれる場合や、[WMA](#) をクリックしても音楽を聴くことができない場合は、[MP3](#) をクリック/タッチしてください。MP3 は、MPEG Audio Layer-3 の略称で、比較的多くの種類のデバイスで音楽を再生することができます。

いずれの場合も、音楽データはインターネットを経由してダウンロードされ再生されますので、インターネットに接続された、または接続可能な状態でクリックする必要があります。